

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	エステティック理論Ⅰ	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須
担当教員	村中 梨絵	学年・学期	1年・前期	時間数	15時間	授業方法	講義
授業概要 ・ 授業内容	<p>・エステティックに関する基礎知識、エステティックの本質となる「ソシオエステティック」、エステティックの歴史、資格制度、関連法規、生命活動の基本であるホメオスタシスについて学び、安全安心なエステティックのあり方、エステティックの心身に対する効果について理解を深める授業である。</p> <p>授業は講義形式で「エステティック理論Ⅰ」における理論的学習と「フェイシャルエステティック基礎演習」および「ボディエステティック基礎演習」における技術的学習との関連性をもたせた授業展開を行う。</p>						
到達目標	<p>本科目「エステティック理論Ⅰ」のねらいは、エステティシャンとして社会で働くうえで、法令を遵守し、お客さまに安全安心なエステティックを提供する大切さ、お客さまから信頼されるエステティックサービスとはどのようなものなのか、を明確にし、エステティックの全体像を理解した上で従業できる基本を身につけることにある。同時に将来目指す職業への関心を深め、就業に向けた実践的な行動がとれるようにする。</p>						
授業計画・内容							
第1週	エステティックとは①						
第2週	エステティックとは②						
第3週	エステティックとは③						
第4週	エステティックの概念 ①						
第5週	エステティックの概念 ②						
第6週	エステティックの概念 ③						
第7週	エステティックに関連する法律 ①						
第8週	エステティックに関連する法律 ②						
第9週	エステティックに関連する法律 ③						
第10週	エステティックに関連する法律 ④						
第11週	エステティックに関連する法律 ⑤						
第12週	生命活動とホメオスタシ①						
第13週	生命活動とホメオスタシ②						
第14週	生命活動とホメオスタシ③						
第15週	前期試験対策						
評価方法	<p>定期試験、課題提出および内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安：筆記試験（70%）・課題提出および内容（10%）・出席状況（10%）・授業態度（10%）</p>						
教科書 教材など	<p>①AJESTHE認定フェイシャルエステティシャン AJESTHE認定ボディエステティシャン 理論と技術</p> <p>②フェイシャルトリートメント マニュアル</p>						
実務経験	株式会社AILEにてエステティシャンとして7年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	皮膚科学Ⅰ	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須
担当教員	村中 梨絵	学年・学期	1年・通年	時間数	30時間	授業方法	講義
授業概要 ・ 授業内容	<p>・皮膚にはバリア機能があり、身体をさまざまな環境から守っている。また皮膚は「心の鏡」といわれ、心身の影響をととも受けやすくデリケートで日々変化している。</p> <p>・授業は講義形式で皮膚のしくみと美容上大切な皮膚の働きについて学び、皮膚の構造や仕組みを理解し、お客様に伝えられるように学習する。</p>						
到達目標	<p>・エステティックトリートメントで触れる皮膚について学び、お客様の皮膚の状態を理解する力を養う。お客様の肌を診て、触れて、お客様の肌の変化を常に感じられる力を身に付ける。</p>						
授業計画・内容							
第1週	皮膚の大切な役割	第16週	さまざまな皮膚の状態とお手入れのポイント				
第2週	皮膚の基本（構造と働き）①	第17週	衰えた肌				
第3週	皮膚の基本（構造と働き）②	第18週	色素沈着				
第4週	皮膚の基本（構造と働き）③	第19週	ニキビ、吹き出物				
第5週	皮膚の基本（構造と働き）④	第20週	敏感肌				
第6週	皮膚の基本（構造と働き）⑤	第21週	季節と肌について				
第7週	美容に大切な皮膚の働き①	第22週	エイジングとお手入れのポイント①				
第8週	美容に大切な皮膚の働き②	第23週	エイジングとお手入れのポイント②				
第9週	美容に大切な皮膚の働き③	第24週	女性ホルモンと肌への影響				
第10週	美容に大切な皮膚の働き④	第25週	ストレスと肌への影響				
第11週	美容に大切な皮膚の働き⑤	第26週	肌荒れと敏感肌①				
第12週	肌タイプとお手入れのポイント①	第27週	肌荒れと敏感肌②				
第13週	肌タイプとお手入れのポイント②	第28週	肌荒れと敏感肌③				
第14週	肌タイプとお手入れのポイント③	第29週	その他の肌への影響				
第15週	前期試験対策	第30週	後期試験対策				
評価方法	<p>定期試験（、課題提出および内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：筆記試験（70%）、課題提出および内容（10%）、出席状況（10%）、授業態度（10%）</p>						
教科書 教材など	<p>①AJESTHE認定フェイシャルエステティシャン AJESTHE認定ボディエステティシャン 理論と技術 ②フェイシャルトリートメントのマニュアル</p>						
実務経験	株式会社AILEにてエステティシャンとして7年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	解剖生理学Ⅰ	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須
担当教員	村中 梨絵	学年・学期	1年・後期	時間数	15時間	授業方法	講義
授業概要 ・ 授業内容	<p>・人の身体はその最小単位が細胞であると同時に、組織や器官で構成されたひとつの生命体でもある。</p> <p>エステティシャンが身体のしくみと構造、働きを理解することは、安全で効果的なトリートメントを提供する上で必要である。</p> <p>・授業は講義形式でエステティック技術演習における技術的学習との関連性をもたせ、トリートメントに生かせる授業展開を心がける。</p>						
到達目標	<p>①エステティシャンが施術する際に必要な筋肉や骨、リンパ節の正確な位置やしくみ、働きについて理解する。</p> <p>②身体のしくみと働きを理解し、お客様の心身のさまざまな変化や反応を確認しながら、施術方法を調整することへつなげていく。</p> <p>③身体の構造を理解することで、トリートメントにおける禁忌の理由を理解させ、安全なトリートメントを行う力を養う。</p>						
授業計画・内容							
第1週	身体の基本 細胞						
第2週	組織 器官系						
第3週	骨の構造と働き①						
第4週	骨の構造と働き②						
第5週	筋肉の働きと種類①						
第6週	筋肉の働きと種類②						
第7週	筋肉の働きと種類③						
第8週	神経系 中枢神経						
第9週	神経系 末梢神経						
第10週	感覚						
第11週	循環器系 血液循環						
第12週	循環器系 リンパ系						
第13週	消化器系①						
第14週	消化器系②						
第15週	生殖器系						
評価方法	<p>・後期に学期末試験を実施し、筆記試験の結果と授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安：筆記試験（90％）・出席や授業態度（10％）</p>						
教科書 教材など	①AJESTHE認定フェイシャルエステティシャン AJESTHE認定ボディエステティシャン 理論と技術						
実務経験	株式会社AILEにてエステティシャンとして7年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	フェイシャルエステティック基礎演習	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須
担当教員	ルグラン 美都子/杉山 菜月	学年・学期	1年・通年	時間数	105 時間	授業方法	演習
授業概要 ・ 授業内容	<p>・フェイシャルエステティックの基本的な流れ、ベーシックな技術を学習する。一つ一つの手技の意味を学習する。基本的なエステティック機器の使用方法や目的、注意事項や禁忌事項を学ぶ。美容に携わるのにふさわしい立ち居振る舞い、身だしなみの指導をする。</p> <p>・授業は演習形式で、美容理論における理論的学習との関連性をもたせた授業展開を心がける。</p>						
到達目標	<p>①事前準備も含めて、お客さまをおもてなしする姿勢と力を身につける。</p> <p>②社会人としての立ち居振る舞いを身に付ける。</p> <p>③ノーマル肌に対してトリートメントができる力を養う。</p>						
授業計画・内容							
第1週	事前準備 ワゴン、ベットお客様のお通し	第16週	フェイシャルトリートメントノーマル工程の復習				
第2週	事前準備 ～ストレッチまで	第17週	フェイシャルトリートメント ノーマル工程				
第3週	ウイッグによる実習 クレンジング	第18週	エステティック機器 スチーマーの使用				
第4週	相モデルによる実習 クレンジング	第19週	エステティック機器 スチーマーの使用				
第5週	相モデルによる実習 スチームタオル	第20週	エステティック機器 吸引を含む工程				
第6週	相モデルによる実習 化粧水 乳液	第21週	エステティック機器 吸引を含む工程				
第7週	クレンジングテストの練習及び実施	第22週	ディープクレンジングのバリエーション 酵素				
第8週	オイルマッサージ軽擦法	第23週	ノーマル肌フルトリートメント				
第9週	オイルマッサージ強擦法	第24週	ノーマル肌フルトリートメント パックも含む				
第10週	オイルマッサージ揉擦法	第25週	エステティック機器 エレクトロクレンジング				
第11週	オイルマッサージ打法 振動法	第26週	ノーマル肌フルトリートメント エレクトロクレンジングを含む工程				
第12週	オイルマッサージ圧迫法 軽擦法	第27週	ノーマル肌フルトリートメント エレクトロクレンジングを含む工程				
第13週	マッサージテストの練習及び実施	第28週	ノーマル肌フルトリートメント エレクトロクレンジングを含む工程				
第14週	クレンジングテスト～マッサージ ローションパック	第29週	ノーマル肌の工程 試験対策				
第15週	クレンジング～ディープクレンジング ジェルパック	第30週	ノーマル肌の工程 試験対策				
評価方法	<p>・定期試験を実施し、実技試験と見極めテスト及び授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安：実技試験（70％）・見極めテスト10点×2回（20％）・授業態度や出席（10％）</p>						
教科書 教材など	<p>①AJESTHE認定フェイシャルエステティシャン AJESTHE認定ボディエステティシャン 理論と技術</p> <p>②フェイシャルトリートメントのマニュアル</p>						
実務経験	ルグラン 美都子：有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務 たかの友梨ビューティクリニックにて3年間勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	ボディエステティック基礎演習	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須
担当教員	ルグラン 美都子／杉山 菜月	学年・学期	1年・後期	時間数	75時間	授業方法	実技
授業概要 ・ 授業内容	<p>・ハンドマッサージによるお手入れを中心に、ボディエステティックの基本的な流れ、ベーシックな技術を学習し、一つ一つの手技の意味や技術力を身につける。</p> <p>・授業方法は演習形式で身体の生理機能や解剖学の知識を踏まえて、骨格や筋肉、循環器など理解して行う。主にスキンケア、プロポーションメイキング、リラクゼーションを目的としたマッサージを学ぶ。</p>						
到達目標	<p>①ボディエステティックの基本的な流れ、ベーシックな技術を習得する。</p> <p>②お客様にリラックスしていただけるようなタオル捌き、雰囲気作り、声掛けを身に付ける。</p> <p>③基本手技を理解し、全身のマッサージができるようにする。</p>						
授業計画・内容							
第1週	ベットメイク、事前準備と前操作						
第2週	下肢背面のマッサージ						
第3週	背中でのマッサージ						
第4週	前操作と背面のマッサージの通し						
第5週	前操作と背面のマッサージの通し						
第6週	前操作と背面のマッサージの通し及び見極めテスト						
第7週	下肢前面のマッサージ						
第8週	上肢のマッサージ						
第9週	デコルテ、首、頭のマッサージ						
第10週	前面のマッサージの通し						
第11週	前面のマッサージの通し						
第12週	前面のマッサージの通し及び見極めテスト						
第13週	全身の片側マッサージ						
第14週	全身の片側マッサージ						
第15週	後期試験対策						
評価方法	<p>・後期に学期末試験を実施し、実技試験と見極めテスト及び授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安：出席率や授業態度（10％） ・見極めテスト10点×2回（20％） ・実技試験（70％）</p>						
教科書 教材など	<p>①AJESTHE認定フェイシャルエステティシャン AJESTHE認定ボディエステティシャン 理論と技術</p> <p>②ボディトリートメントのマニュアル</p>						
実務経験	ルグラン 美都子：有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務 たかの友梨ビューティクリニックにて3年間勤務			実務経験のある教員による 授業科目			✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	化粧品学	学科名	トータルビューティ学科			授業方法		講義	
担当教員	木村裕美	学年・学期	1年・通年	時間数	30時間	必須・選択	必須		
授業概要 ・ 授業内容	化粧品学を学ぶ事で、多種類ある化粧品の中からお客様に最適な商品を提案できるようにする。 授業は講義形式を中心に行う中で効能別商品に触れながら自身の肌で実感し、相モデルでアドバイスやご紹介をしていく。機器からのデータを分析し、必要性や役割を実感させる。								
到達目標	美容関連の仕事に携わるうえで、メイクアップ・ネイル・エステティック、どの分野に就職しても必要となる技術である、多種類ある化粧品の中からお客様に最適な商品を提案できるようになる。成分だけで、化粧品の中身がどんな効能を期待できるか判断できるようになる。								
授業計画・内容									
第1週	医薬品・医薬部外品・化粧品			第16週	化粧品の取り扱い上の留意点①				
第2週	薬機法			第17週	化粧品の取り扱い上の留意点②				
第3週	化粧品の分類①(フェイシャル化粧品)			第18週	確認テスト				
第4週	化粧品の分類①(フェイシャル化粧品) 実習			第19週	官能評価について①				
第5週	化粧品の分類②(メイクアップ化粧品)			第20週	官能評価について②				
第6週	化粧品の分類②(メイクアップ化粧品)実習			第21週	官能評価について③				
第7週	化粧品の分類③(ボディ化粧品)			第22週	官能評価について④				
第8週	化粧品の分類③(ボディ化粧品)実習			第23週	まとめ				
第9週	化粧品の分類④(ヘアケア化粧品)			第24週	ブランド別成分と効果(クリニーク)				
第10週	化粧品の分類④(ヘアケア化粧品)実習			第25週	ブランド別成分と効果(ディオール)				
第11週	化粧品の分類⑤(フレグランス)			第26週	ブランド別成分と効果(コスメデコルテ)				
第12週	化粧品の分類⑤ (フレグランス) 実習			第27週	ブランド別成分と効果(資生堂)				
第13週	確認テスト			第28週	ブランド別成分と効果(RMK)				
第14週	化粧品の品質と品質保証			第29週	ブランド別成分と効果(アクセーヌ)				
第15週	化粧品の分類			第30週	確認テスト				
評価方法	定期試験を実施し筆記テストの結果と出席状況や授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験（90%）・授業態度や出席（10%）								
教科書 教材など	一般社団法人日本エステティック協会テキストを基に作成したプリント								
実務経験	F i k a b e a u t y & r e l a x オーナー歴1年				実務経験のある教員による 授業科目			✓	

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	ケーススタディ	学科名	トータルビューティ学科			授業方法		講義	
担当教員	木村裕美	学年・学期	1年・通年	時間数	30時間	必須・選択	必須		
授業概要 ・ 授業内容	顔のバランスと印象についてより詳しくみて学んでいく。顔の分析をしていく上で、どのようなバランスであるか、そのバランスがどのような印象を与えるかを理解していく。フェイシャル画を描く練習も行い、顔の修正バランスも理解できるように学んでいく。また顔分析ができるようにたくさんの顔をみて、目を養っていく。								
到達目標	顔分析が的確に行えるようになる。個性や魅力を活かしたメイク、目指すイメージメイクに合わせたメイクができるようになる。								
授業計画・内容									
第1週	フェイシャル画の大切さを学ぶ	第16週	アイブロウによる顔のバランス調整						
第2週	フェイシャル画の描き方①	第17週	アイブロウによる顔のバランス調整 実習						
第3週	フェイシャル画の描き方②	第18週	アイメイクによる顔のバランス調整						
第4週	顔の型の分析と印象①	第19週	アイメイクによる顔のバランス調整 実習						
第5週	顔の型の分析と印象②	第20週	チークによる顔の顔のバランス調整						
第6週	印象の分類①フェミン顔とマニッシュ顔	第21週	チークによる顔の顔のバランス調整実習						
第7週	印象の分類②フェミニン顔とマニッシュ顔	第22週	リップによる顔のバランス調整						
第8週	メイクアップのバランス調整①子供顔と大人顔	第23週	リップによる顔のバランス調整 実習						
第9週	メイクアップのバランス調整②子供顔と大人顔	第24週	ハイライ、ローライトによる顔のバランス調整						
第10週	子供の顔、大人の顔の修正メイクアップ①	第25週	ハイライ、ローライトによる顔のバランス調整実習						
第11週	子供の顔、大人の顔の修正メイクアップ②	第26週	実技テスト練習①						
第12週	子供の顔、大人の顔の修正メイクアップ実習	第27週	実技テスト練習②						
第13週	子供の顔、大人の顔の修正メイクアップ実習	第28週	実技テスト練習③						
第14週	フェミニン顔、マニッシュ顔の修正メイクアップ①	第29週	実技テスト						
第15週	フェミニン顔、マニッシュ顔の修正メイクアップ実習	第30週	まとめ						
評価方法	定期試験を実施し、前期、後期実技試験の結果と小テスト、授業態度や身だしなみ、出席状況及び提出物や小テストを考慮して成績を評価する。 ※ 評価目安：実技試験と小テスト（60%）・授業態度・出席や身だしなみ（30%）・提出物（10%）								
教科書 教材など	日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト 3級2級、講師作成プリント								
実務経験	F i k a b e a u t y & r e l a x オーナー歴1年				実務経験のある教員による 授業科目			✓	

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	メイクアップ基礎演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	中山 いずみ/ 杉山 葉月	学年・学期	1年・前期	時間数	90時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	前半では、メイクアップの基本となるスキンケアからベースメイク・チーク・ハイライト・ローライトまでの基本的な技術の過程を学ぶ。また後半になると、ポイントメイクのアイブロウ・アイシャドウ・アイライナー・ビューラー・マスカラ・リップなどの基本の入れ方を学ぶ。授業は、実技形式が中心で、メイクウィッグや相モデルで繰り返し練習を重ね、JMA（日本メイクアップ技術検定協会）2.3級検定に望む。						
到達目標	本科目「メイクアップ基礎演習」では、JMA（日本メイクアップ技術検定協会）.3級全員が合格できるよう指導することが目標である。また同時に将来の美容の世界で活躍できるよう、挨拶、身だしなみ、言葉遣いなどのマナーにも力を入れ、指導する。						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション、メイクアップ基礎演習の概要						
第2週	JMA検定について説明、メイクボックスの中身の確認と説明						
第3週	JMA3級のテーブルセッティング、スキンケアのデモンストレーション						
第4週	相モデルでメイクテーブルセッティングの練習						
第5週	メイクウィッグを使用し、ポイントメイクのスキンケアまで①						
第6週	メイクウィッグを使用し、ポイントメイクのスキンケアまで②						
第7週	メイクウィッグを使用し、ベースクレンジングまで①						
第8週	メイクウィッグを使用し、ベースクレンジングまで②						
第9週	ベースクレンジングまでの実技テスト						
第10週	メイクウィッグを使用し、化粧水まで①						
第11週	メイクウィッグを使用し、化粧水まで②						
第12週	メイクウィッグを使用し、乳液まで①						
第13週	メイクウィッグを使用し、乳液まで②						
第14週	乳液までの実技テスト						
第15週	JMA3級検定試験						
評価方法	定期試験では実技テストを行い、課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 安： 定期テスト（90%）、授業態度や出席（10%）						※評価目
教科書 教材など	日本メイクアップ検定 2, 3級テキスト						
実務経験	CPサロン パンドーラ 3年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	バリエーションメイクアップ	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須
担当教員	中山 いずみ/ 杉山 葉月	学年・学期	1年・後期	時間数	90 時間	授業方法	実技
授業概要 ・ 授業内容	<p>・日本メイクアップ技術検定試験のテキストを柱に、メイクアップ技術検定試験の2級取得を目指すことでメイクアップに対しての知識を深める。</p> <p>・授業方法は演習形式で相モデルで実習をすることでスキンケアからポイントメイクまで全てを50分で仕上げられるようになる。また肌質やパーツバランスも違う相モデルで毎回実習を行う事で、現場で必要となる応用力を身に付ける。</p>						
到達目標	<p>・日本メイクアップ技術検定試験2級取得目標とすることで、ベースメイクの質感をツヤ肌にコントロールできるようになる。アイブローはペンシルとパウダーを併用した技術を習得する。アイシャドウは数色使用することで、立体感を出せる技術を習得する。リップブラシを使用し、モデルに合ったリップラインが描けるようになる。</p>						
授業計画・内容							
第1週	復習と確認・2級についての解説・デモスト展示						
第2週	スキンケアテクニック						
第3週	ハーフマット肌テクニック理論・実技①						
第4週	ハーフマット肌テクニック理論・実技②						
第5週	アイブロー・アイシャドウ・アイライン・ビューラー・マスカラ・リップ①						
第6週	アイブロー・アイシャドウ・アイライン・ビューラー・マスカラ・リップ②						
第7週	2級通し練習①						
第8週	2級通し練習②						
第9週	2級通し練習③						
第10週	日本メイクアップ技術検定試験2級実技試験						
第11週	個性の分析<フレッシュ>						
第12週	個性の分析<フェミニン>						
第13週	個性の分析<マニッシュ>						
第14週	個性の分析<アダルト>						
第15週	バランス分析まとめ						
評価方法	<p>・日本メイクアップ技能検定2級の実技試験を実施し検定試験結果と授業態度や出席状況を考慮し成績を評価する。</p> <p>※評価目安：検定結果（90）%・授業態度や出席（10%）</p>						
教科書 教材など	日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト 3級2級						
実務経験	中山 いずみ：株式会社 CPパンドーラ（メイク担当）3年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	ネイル基礎演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	石井貴子・難波陽子	学年・学期	1年・前期	時間数	90時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	7月に行われるネイリスト技能検定3級試験合格を目標に、ネイルケア、ポリッシュカラーリング、ネイルアートに関する基本的な技術及び知識を身に付けていきます。基本は相モデルで練習していきます。						
到達目標	ネイリスト技能検定3級合格（検定日7月17日（日）・10月23日（日）・2023年1月22日（日））						
授業計画・内容							
第1週	自己紹介、シラバスで年間スケジュールの説明、教材確認、品名ラベル・名前シール貼り						
第2週	品名ラベル・名前シール貼り、テーブルセッティング、ファイルの面取り、ウッドスティック削り、テキスト読み、DVD						
第3週	ハンドにチップ付け、爪の形の説明、エメリーボードの持ち方使い方、ラウンドの仕方デモ、ハンドでラウンド練習						
第4週	爪の各部名称のテスト、ラウンド練習（ハンド）、ネイルケアの流れプリントで説明、デモ、相モデル練習（プッシュアップまで）						
第5週	ラウンド練習（ハンド）、ネイルケア相モデル練習（プッシュアップまで）ニッパー使い方説明、デモ、相モデル練習						
第6週	ネイルケア相モデル練習（消毒～ニッパー処理まで）、カラーリング説明、デモ、紙・ハンドで練習						
第7週	ネイルケアカラーリング相モデル練習、リムーブデモ、リムーブ練習						
第8週	フラットカラー練習（説明、デモ、紙の上で練習、ハンドで練習、相モデル練習）						
第9週	リムーブ、ケア、カラー、アート相モデル練習						
第10週	リムーブ、ケア、カラー、アート相モデル練習・筆記試験過去問題勉強						
第11週	リムーブ、ケア、カラー、アート相モデル練習・筆記試験過去問題勉強						
第12週	リムーブ、ケア、カラー、アート相モデル練習・筆記試験過去問題勉強・模擬試験						
第13週	リムーブ、ケア、カラー、アート相モデル練習・筆記試験過去問題勉強						
第14週	リムーブ、ケア、カラー、アート相モデル練習・筆記試験過去問題勉強・模擬試験						
第15週	リムーブ、ケア、カラー、アート相モデル練習・筆記試験過去問題勉強						
評価方法	出席状況、授業態度、課題提出状況 前期試験は実技・筆記共に実施し、トータルで評価する。						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステム（ベーシック・ジェルネイル） ネイリスト技能検定試験公式問題集						
実務経験	石井貴子：サロンワーク経験12年（有限会社 うるわし） 難波陽子：NAIL FLOOR vivid 1年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	ジェルネイル基礎演習	学科名	トータルビューティ学科		授業方法	演習
担当教員	石井貴子・難波陽子	学年・学期	1年・通年	時間数	60時間	必須・選択 必須
授業概要 ・ 授業内容	ジェルネイルを施術するために必要な基礎的知識や技術を伝え、習得していきます。相モデルで練習します。					
到達目標	JNAジェルネイル技能検定試験初級・中級合格					
授業計画・内容						
第1週	教材確認、テキスト読み	第16週	ジェルアート（ピーコック練習）			
第2週	テキスト読み	第17週	ジェルネイル相モデル練習（初級）			
第3週	ラウンド練習、ネイルケア説明、デモ	第18週	〃			
第4週	ラウンド練習、ネイルケア相モデル練習	第19週	〃			
第5週	ネイルケア相モデル練習	第20週	ジェル中級課題練習（フレンチ）			
第6週	カラーリング練習	第21週	ジェル中級課題練習（ピンクグラデ）			
第7週	ネイルケア、カラーリング相モデル練習	第22週	ジェル中級課題練習（イクステンション）			
第8週	フラットアート練習	第23週	ジェルネイル相モデル練習（中級）			
第9週	リムーブ、ケア、カラー、アート相モデル練習	第24週	〃			
第10週	〃	第25週	〃			
第11週	〃	第26週	〃			
第12週	〃	第27週	〃			
第13週	〃	第28週	〃			
第14週	ジェルについて説明、教材確認	第29週	〃			
第15週	ジェルネイルやり方、手順説明、ハンド練習	第30週	〃			
評価方法	出席状況、授業態度、課題提出状況 前期・後期試験共に実技・筆記を行い、トータルで評価する					
教科書 教材など	JNAテクニカルシステム（ジェルネイル） ネイリスト検定試験公式問題集					
実務経験	石井貴子：サロンワーク経験12年（有限会社 うるわし） 難波陽子：NAIL FLOOR vivid 1年勤務				実務経験のある教員による 授業科目	

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	ジェルネイル応用演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	石井貴子・難波陽子	学年・学期	1年・後期	時間数	90時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	ジェルネイル初級・中級検定合格を目標に、各級の知識及び技術を身に付けていきます。 相モデルで練習します。						
到達目標	JNAジェルネイル技能検定試験 初級合格・中級合格						
授業計画・内容							
第1週	ジェルアート（ピーコック）練習（ハンド、相モデル）・筆記勉強						
第2週	ジェルネイル相モデル練習（初級）右手：ジェルカラーリング（中指ピーコックアート）左手：ポリッシュカラーリング						
第3週	〃 ・筆記勉強						
第4週	〃						
第5週	ジェル中級課題練習 フレンチ（ハンド、相モデル）						
第6週	〃 ピンクグラデ（ 〃 ）						
第7週	〃 イクステンション（ 〃 ）						
第8週	ジェルネイル相モデル練習（中級） ・筆記勉強						
第9週	〃						
第10週	〃						
第11週	〃						
第12週	〃						
第13週	〃						
第14週	〃						
第15週	〃						
評価方法	出席状況、授業態度、課題提出状況 後期試験は、実技・筆記共に実施し、上記とトータルで評価する。						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステム（ジェルネイル） ネイリスト技能検定試験公式問題集						
実務経験	石井貴子：サロンワーク経験12年（有限会社 うるわし） 難波陽子：NAIL FLOOR vivid 1年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	ICT応用	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	木村裕美	学年・学期	1年・後期	時間数	15時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	時代に合わせたICTを有効活用できるスキルを身につけ、就職に役立てる インフルエンサーマーケティングの仕組みを理解する SNSの扱い方を学び、自然に情報活用力が身につくようにする						
到達目標	SNSを使用したオンライン上でのカウンセリングができるようになる 美容情報やポートフォリオの作成、発信ができるようになる 就職活動で使用できる自己PR動画が自分で製作できるようになる						
授業計画・内容							
第1週	SNSの特徴、SNSの役割について、インフルエンサーマーケティングについて						
第2週	Instagram投稿準備 投稿イメージ決定						
第3週	Instagram投稿準備 コンセプトに合わせた写真撮影・加工						
第4週	Instagram投稿 キャプション作成・フィードバック						
第5週	ポートフォリオの作成						
第6週	ポートフォリオ完成・プレゼンテーション						
第7週	オンラインカウンセリングと対面カウンセリングの違い						
第8週	カウンセリングシートの記入、シートを用いたホームケアアドバイス/ロープレ①						
第9週	ホームケアアドバイス/ロープレ②						
第10週	動画編集加工について						
第11週	動画撮影、編集、加工						
第12週	動画完成、鑑賞、フィードバック						
第13週	就活用自己PR動画撮影準備						
第14週	就活用自己PR動画撮影・提出						
第15週	まとめ						
評価方法	定期試験は行わず、総合評価60点以上で認定とする。（能力4割、授業態度3割、提出3割） 出席80%以上（下回る場合は単位認定しない）						
教科書 教材など	タブレット・スマートフォン・PC・ワークシート						
実務経験	Fika beauty&relax オーナー歴1年					実務経験のある教員による 授業科目	

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	実践マナー	学科名	トータルビューティ学科			授業方法		講義	
担当教員	藤原・木村	学年・学期	1年・通年	時間数	60時間	必須・選択	必須		
授業概要 ・ 授業内容	<p>前期：マナープロトコルの教材を使用し「テーブルマナー」「食事（和、洋）のマナー」「冠婚葬祭のマナー」等、一般的なマナーを習得する。</p> <p>後期：社会人としてのマナー、ビジネスマナー、立ち居振る舞いを身に付け、就職面接及び社会人としての振る舞いを習得する。</p>								
到達目標	大人の女性として、自信を持って社会に出て行ける力を身に付ける								
授業計画・内容									
第1週	マナーの歴史	第16週	社会人に必要なマナー・ビジネスマナー復習						
第2週	国際人としてのマナー①	第17週	ビジネスマナー実践①						
第3週	国際人としてのマナー②	第18週	ビジネスマナー実践②社会人としての心得						
第4週	国際人としてのマナー③	第19週	ビジネスマナー実践〃						
第5週	食事のマナー（和・洋・中）①	第20週	ビジネスマナー実践③立ち居振る舞い						
第6週	食事のマナー（和・洋・中）②	第21週	ビジネスマナー実践〃						
第7週	食事のマナー（和・洋・中）③	第22週	ビジネスマナー実践④お客様心理						
第8週	お酒のマナー①	第23週	ビジネスマナー実践〃						
第9週	お酒のマナー②	第24週	ビジネスマナー実践⑤社員満足と顧客満足						
第10週	冠婚葬祭①	第25週	ビジネスマナー実践〃						
第11週	冠婚葬祭②	第26週	ビジネスマナー実践⑥クレーム対応						
第12週	冠婚葬祭③	第27週	ビジネスマナー実践〃						
第13週	社会人に必要なマナー	第28週	ビジネスマナー実践⑦就職面接のポイント						
第14週	ビジネスシーンのマナー①	第29週	ビジネスマナー実践〃						
第15週	ビジネスシーンのマナー②	第30週	まとめ						
評価方法	定期試験：60%、小テスト：20%、授業態度：10%、出席：10%								
教科書 教材など	「マナー&プロトコルの基礎知識」NPO法人日本マナープロトコル協会 補足プリント								
実務経験	Air Bonheur代表				実務経験のある教員による 授業科目			✓	

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	サービス接客検定対策		学科名	トータルビューティ学科		授業方法	講義	
担当教員	宮原香由里		学年・学期	1年・通年	時間数	45時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	<p>サービス接客検定対策は、「サービス接客検定」の資格を取得することを目的とする教科です。講義、ロールプレイ演習および授業プリントのファイリング等により、検定合格レベルの知識と対人技能を身に付けるだけでなく、社会人の基本動作と心構えを身に付ける授業です。前期は社会人(サービススタッフ)としての心構え、基本動作および敬語と接客表現を学習し3級レベルの知識を学びます。後期は準1級ロールプレイ合格を目指し、接客技能を身に付けると同時に就職の面接対策にもつなげる訓練をします。また、知識としては2級レベルの学習もします。検定を必ず受験し、いずれかの級に合格することを求めます。</p>							
到達目標	<p>①返事、挨拶、お辞儀、敬語を徹底して習得し日常的に使える接客の基本言動を学び、サービス接客検定準1級レベルの感じの良い接客者としての物腰や愛想愛敬のある接客スキルを身に付ける。 ②ノートを取り、自分のマニュアル作成ができるようにする。 ③授業プリントをファイリングすることで、日常的に書類管理できるスキルを身に付ける。 ④課題等の提出物の期日を守るための時間管理能力を身に付ける。 ⑤授業時に身だしなみを整えることを意識することで、社会人の仕事への姿勢に対する感覚を持つようにする。</p>							
授業計画・内容								
第1週	オリエンテーション (ファイリング、課題提出や評価方法について)		第16週	前期総復習・ファイリング・サービス接客検定準1級の受験案内				
第2週	社会人を目指す学生として		第17週	第一印象の重要性・グループ練習の手順の説明				
第3週	基本行動(挨拶、お辞儀、笑顔、態度)		第18週	準1級検定対策1 入室から退室まで				
第4週	サービス接客とは		第19週	準1級検定対策2 基本言動①				
第5週	サービススタッフの資質		第20週	準1級検定対策3 基本言動②				
第6週	敬語の必要性(敬語とは)		第21週	準1級検定対策4 接客応答①				
第7週	尊敬語と謙譲語		第22週	準1級検定対策5 接客応答②				
第8週	丁寧語・丁寧語・美化語		第23週	準1級検定対策6 接客対応①				
第9週	敬語の使い分け・敬称の使い方		第24週	準1級検定対策7 接客対応②				
第10週	接客用語		第25週	準1級検定対策8 リハーサル訓練①				
第11週	接客表現		第26週	準1級検定対策9 リハーサル訓練②				
第12週	クッション用語と依頼の表現		第27週	準1級検定 フィードバック				
第13週	接客表現の総合演習1		第28週	サービス検定2級対策 ①				
第14週	サービス接客検定3級対策 ①		第29週	サービス検定2級対策 ②				
第15週	サービス接客検定3級対策 ②		第30週	サービス検定2級対策 ③				
評価方法	<p>検定対策教科であるため、サービス接客検定に合格することを単位認定の目標にします。 前期評価…①試験点(3級模試) ②授業点(課題点と授業態度) ③出席率を1対1対1の割合で評価します。 後期評価…④試験点(級を問わず検定合格者は40点加点) ⑤授業点(課題点と授業態度 配点50点) ⑥出席点(配点10点)とし、④+⑤+⑥で評価をつけ、後期評価を学年末の評価とします。 1月末に検定の合格をしていない学生は再試験となり、2月の検定が必須受験となります。詳しくは、初回授業のオリエンテーション時に説明します。</p>							
教科書 教材など	<p>講師作成のテキスト兼ノートを使用。授業で配布するプリントをファイリングすることでテキストとして完成します。 検定対策のための問題集は、学校より貸し出します。</p>							
実務経験	ビジネスマナー・インストラクターとしての実務経験(25年) 国家資格キャリアコンサルタント(3年)				実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	一般教養（一般常識）	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	仁井名由記	学年・学期	1年・前期	時間数	15時間	必須・選択	必須選択
授業概要 ・ 授業内容	[一般常識]: : 高校までに学習した漢字の読み書き、計算、時事問題など社会に出てから必要となる基礎知識を復習する。授業方法として学生の基礎知識の差があるため基本的な項目を復習しながら教えて行く。						
到達目標	[一般常識]: : 高校までに学習した漢字の読み書き、計算、時事問題など社会に出てから必要となる基礎知識を復習する。授業方法として学生の基礎知識の差があるため基本的な項目を復習しながら教えて行く。						
授業計画・内容							
第1週	日常漢字を中心に教え復習させる。						
第2週	漢字の読み書きの復習						
第3週	漢字の読み書きの復習						
第4週	慣用句の学習						
第5週	慣用句の復習						
第6週	慣用句の復習						
第7週	文章能力を高める「読む力」						
第8週	文章能力を高める「読む力」						
第9週	文章能力を高める（解読力）						
第10週	文章能力を高める（解読力）						
第11週	基本的な計算問題を教える						
第12週	基本的な計算問題を教える						
第13週	小数点・分数の計算						
第14週	小数点・分数の計算						
第15週	今までのまとめ						
評価方法	[一般常識]: 定期試験を実施し、課題内容を考慮して成績を評価する。 ※評価目安: 授業点（33%）小テスト（33%）定期試験（34%）						
教科書 教材など	(1) 講師作成プリント(一部引用 出版: 廣済堂あかつき 本名: 実践就職問題集)、朝日新聞、読売新聞						
実務経験	株式会社 毛髪クリニックリーブ21 3年				実務経験のある教員による 授業科目		

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	就職ゼミ	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須
担当教員	木村裕美/キャリア	学年・学期	1年・通年	時間数	30時間	授業方法	講義
授業概要 ・ 授業内容	2年次の就職活動に向けての必要な知識を学ぶ。また、就職に関するガイダンス・企業説明会等を実施し、就職活動に関する情報を提供する。その情報をもとに、自分自身が取捨選択し、解決能力を身に付けることができるよう指導する。 授業は講義形式・グループワークを組み合わせで行う。就職活動の進度に応じて個別の面接練習を行う。						
到達目標	就職の目的や目標を明確にし、将来目指す職業への関心を深め、働くことの意義や職業理解を通じて、学生一人ひとりが意欲的に就職活動に向けた行動がとれるようにする。						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション、就職ゼミの授業概要		第16週	業界・職業を知る①（業界研究）			
第2週	わかりやすく伝える（伝言ゲーム）		第17週	業界・職業を知る②（企業研究）			
第3週	グループディスカッション、グループワークの説明		第18週	業界・職業を知る③（卒業生ガイダンス）			
第4週	グループディスカッション演習①		第19週	グループディスカッション演習③			
第5週	グループディスカッション演習②		第20週	グループディスカッション演習④			
第6週	グループワーク演習①		第21週	クレペリン検査模擬試験			
第7週	グループワーク演習②		第22週	能力適性検査模擬試験			
第8週	自己分析①（自己分析の必要性）		第23週	グループワーク演習③			
第9週	自己分析② （今までに力を入れたこと、趣味）		第24週	グループワーク演習④			
第10週	自己分析③ （クラブ活動・文化活動、自覚している性格）		第25週	会社説明会の参加の仕方			
第11週	自己分析④ （自己紹介、自己PR）		第26週	企業を知る（企業ガイダンス）			
第12週	自己分析⑤ （将来の夢、5年後10年後の自分）		第27週	面接試験のマナー①			
第13週	就職サイトの登録		第28週	面接試験のマナー②			
第14週	オープンエントリーシート作成①		第29週	履歴書の書き方①			
第15週	オープンエントリーシート作成②		第30週	履歴書の書き方②			
評価方法	定期試験、課題提出および内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験（60%）・課題やレポート（20%）・授業態度や出席（20%）						
教科書 教材など	プリント、就職ハンドブック						
実務経験	Fika beauty&relax オーナー歴1年				実務経験のある教員による 授業科目		✓